

令和2年  
12月6日(日)  
午後2時～4時  
南田中図書館  
2階会議室にて

音声ガイド  
日本語字幕  
手話通訳

監督 穴戸大裕

# 道草

この街で暮らす

みちくさ

南田中図書館  
バリアフリー映画会



- 定員14名 どなたでもご参加いただけます(参加無料)
- 申込方法: 電話・FAXまたは南田中図書館のカウンターにて受付
- 一般来館者用の駐車場はありません。障害者用に1台分駐車場があります。

ご来場の際は、マスクの着用をお願いいたします。

新型コロナウイルスの影響により、延期または中止の可能性があります。

当日は検温をさせていただきます。当日の体温と健康状態によりましては参加を見合わせていただくことがありますので、予めご了承ください。

☎ 03-5393-2411  
FAX 03-5393-2413

〒177-0035 練馬区南田中5-15-22  
練馬区立南田中図書館

たったひとりの世界では、  
自分は見えない。  
道草をしながらふたりで  
歩く散歩は、この世界とつな  
がり、相手の瞳に自分を映し  
出す時間。  
こんな時間をすべての人が  
持つことができれば、わたし  
たちはもつともっと優しくな  
れるだろう。

瀧瀬あや(映画監督)

## はみ出していく。 よし、はみ出していこう。

暮らしの場所を限られてきた人たちがいる。自閉症と重度の知的障害があり、自傷・他害といった行動障害がある人。世間との間に線を引かれ、囲いの内へと隔てられた。そんな世界の閉塞を、軽やかなステップが突き破る。東京の街角で、介護者付きのひとり暮らしを送る人たち。タンポポの綿毛をとばしブランコに揺られ、季節を闊歩する。介護者とのせめぎ合いはユーモラスで、時にシリアスだ。叫び、振り下ろされる拳に伝え難い思いがにじむ。関わることはしんどい。けど、関わりなくなることで私たちは縮む。だから人はまた、人に近づいていく。

ひとはさびし、ふたりで歩く。  
雨は降る、陽は輝く。人は泣き笑う。

### <知的障害者の暮らしとは？>

知的障害がある人の暮らしの場は広がってきていますが「重度」とされる人の多くは未だ入所施設や病院、親元で暮らしているのが実情です。

2014年に重度訪問介護制度の対象が拡大され、重度の知的・精神障害者もヘルパー付きのひとり暮らしが出来る可能性は大きく広がりました。

そんな中、16年夏には相模原障害者殺傷事件が起きました。この街で誰もがともにあるために、新しい選択肢を見つめてみませんか？



2018年/95分/16:9/カラー/日本

監督・撮影・編集: 穴戸大裕 / 音楽: 末森樹 永原元 / 音響構成・整音: 米山靖 / 宣伝デザイン: 林よしえ / 宣伝イラスト: 木下ようすけ / 題字: 岡部亮佑

特別協力: 全国自立生活センター協議会 / 助成: 公益財団法人 キリン福祉財団 / 企画・製作: 映画「道草」製作委員会

お問合せ: 映画「道草」上映委員会 Tel: 080-3457-8833 FAX: 087-883-6570 info@michikusa-movie.com http://michikusa-movie.com/

#### 音声ガイドつき

セリフとセリフの間に場面解説のナレーションが入ります(専用器具貸出)

#### 日本語字幕つき

セリフや話者、効果音を字幕で表示します

上映前後に手話通訳がつきます

☎ 03-5393-2411

FAX 03-5393-2413

〒177-0035 練馬区南田中5-15-22

練馬区立南田中図書館